

(別添資料1)

事業所名		えがおの家（児童発達支援）				支援プログラム		作成日		7	年	4	月	16	日	
法人（事業所）理念		誰もがあらゐのままにその人らしく、その子らしく安心して笑顔で暮らせる地域社会の実現に利用児童一人ひとりのその子らしさや育ち、地域での暮らしの支援を行うことを目的とします。														
支援方針		私たちは対象になる方々に寄り添った伴走型の支援をします。 1、その子の個性を理解する 2、失敗しても批判されない、責められない安心できる環境 3、子どもの言いたいことを 理解する努力 4、子どもにわかるように伝える工夫をする														
営業時間		10	時	00	分から	18	時	00	分まで	送迎実施の有無		あり			なし	
		支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	お子さんの心身の健康状態の把握に努め、健康で安心して過ごすことができるよう、基本的な生活習慣の獲得と生活のリズムの形成を支援します。 食事や排泄、衣服の着脱などの基本的な生活習慣をスモールステップで獲得できるようサポートしていきます。														
	運動・感覚	お子さんの持つ感覚の特性を把握し、遊びを通じて全身の様々な感覚の成長を支援します。日常生活に必要な身体動作、移動や姿勢保持（着席）等を、遊びを通して定着を図ります。 ボール遊びや感覚あそび、ダンスなどを通して運動の巧緻性や手指の巧緻性を目指すとともに、遊びや活動を行うことで様々な感覚、感触に触れ、五感を活用できるようサポートしていきます。														
	認知・行動	運動遊びや音楽活動、着替えや食事等の基本的な生活習慣を獲得していく中で、言葉と結びつけながら概念（大きさ、色、時間、物の機能）の形成に繋がるよう支援します。 数量や数字の順番など、数に関することを段階的に学べるようにします。また、学習したことが日常生活に広がりやすいように工夫します。														
	言語コミュニケーション	言葉だけでなく、非言語性のコミュニケーション（身振り、指差し、サイン、写真カード）など、一人ひとりのお子さんの特性に合った方法で支援します。 1日の流れを視覚的に提示していく中で、活動の見通しを持って行動できるように支援していきます。														
	人間関係社会性	お子さんが大人と安心して関われるような環境を作り、愛着の形成を図ります。1対1の個別支援の中でお子さんの強みをたくさんみつけて肯定的な働きかけをすることで、他者と過ごす楽しさを経験を味わえるようにします。 ごっこ遊びやルールのある遊びに参加し、役割やルールに応じた行動を身につけ、集団に参加する準備をします。														
家族支援		面談や連絡帳による日々のやりとりや必要に応じて電話連絡等で連携することにより家族の不安や心配を取り除き、いつでも相談できる環境を整えます。						移行支援		家族の了解をとり、必要に応じて保育所等でのお子さんの様子を見学したり、先生とお子さんの様子や支援方針について情報共有したりします。						
地域支援・地域連携		お子さんの通っている他の関係機関と情報共有するなどして連携を図ります。						職員の質の向上		研修及び各部門会議の内容等を毎月の会議やミーティングなどで全員に伝え、研修資料を基に勉強会を行います。						
主な行事等		3月遠足（親子参加）・卒業式 4月お花見 7月プール遊び 8月夏まつり 9月敬老会 10月ハロウィーンパーティー 11月遠足 12月クリスマス会 1月もちつき大会 ・毎月…書道教室・子ども食堂など														